

令和4年度第2回蕨市消防委員会議事録

■日 時 令和5年2月13日（月） 午前10時～午前11時00分

■場 所 蕨市消防本部 2階会議室

■出席者（敬称略）

委 員：小林利規（委員長）、山崎徹（副委員長）

前川やすえ、武下涼、山口武義、沼口美子

事務局：野崎好伴（消防長）、小林順（次長）、鈴木経一（総務課長）、太田栄（予防課長）、

横山義治（副署長）、川邊ユカリ（総務課長補佐）、岡庭雅俊（総務課長補佐）

田中宏明（予防課係長）、下川岳（総務課主任）、杉山歩（総務課副主任）

傍聴者：1名

■次 第

1 開会

2 消防委員長あいさつ

3 消防長あいさつ

4 審議事項

(1) 令和5年度消防本部所管歳出予算(案)の概要について

(2) 令和4年中の火災・救急の概要について

(3) 令和5年春季火災予防運動について

(4) その他

5 閉会

■審議内容

(1) 資料に基づき、令和5年度消防費歳出予算(案)の概要について説明

委 員：01常備消防費(消防・救急活動費)について、熱画像直視装置やバスケットストレッチャーのような資機材は、常に効率的かつ効果的なものが開発されていくものだと思うが、このような資機材の更新時期について、どのように考えているか。また、救命用ボート2艇は、本署と分署に配備する予定なのか

事務局：資機材には、それぞれ処分年限を定めておりますが、予算との兼ね合いもありますので、それに準じて更新しているという現状です。本署と分署に1艇ずつ配備予定となっております。また、ボートの種類等の詳細につきましては、現在検討中となります。近隣市の配備状況などを鑑みながら、来年度中、出来るだけ早く予算執行したいと考えております。

委員：熱画像直視装置とバスケットストレッチャーは、全ての救急車に備えるということでしょうか。

事務局：熱画像直視装置につきましては、今後、各隊に配備していくことを考えております。その先駆けとして来年度1台の導入を実施するものです。バスケットストレッチャーにつきましては、ストレッチャーという名前がついておりますが、救助現場で使用する資機材となりますので、こちらは救助隊に配備する予定となっております。

委員：01常備消防費(庁舎管理費)について、本部庁舎トイレ洋式化修繕というのは、元々、洋式化という計画があった中で、今回、緊急防災・減災事業債の対象ということもあり、このタイミングでの実施なのか。

事務局：おっしゃるとおりです。

委員：02非常備消防費(消防団員活動費)消防操法大会用資機材は、現在、現場用として配備されているものとは、全くの別物という認識でしょうか

事務局：消防操法大会用資機材というのは、通常の吸管よりも軽いものやホースの中の水が通りやすいものなどがあります。それら操法用と定められたものを重点的に整備していきたいと考えております。しかしながら、それらの資機材が大会終了後に、現場で使えないということはないので摩耗状況等確認しながら、使用可能なものは現場用に転用していきたいと考えています。

委員：01常備消防費(一般職人件費)が前年度と比較し、33,667千円の増額の理由について伺いたい。

事務局：この増額のほとんどが職員の時間外勤務手当や特殊勤務手当を見込んだものとなります。現在、新型コロナウイルス感染症により生じた事態に対処するため、特殊勤務手当の特例ということで、防疫等業務手当が支給されています。いまだに新型コロナウイルス感染症の終息がみえない状況から、このような金額を計上したものです。

委員：時間外勤務に関連して、他機関では勤務管理のIC化などが進められているところもあるが、今日の消防においても搬送までに8時間を要する救急出動などがあるなかで、職員の労務管理について、どのようにされているのか。

事務局：時間外勤務につきまして、本部職員は、今日は何時間残ります。残りまして。というように各職員が所属長に申告もしくは報告して管理しているところですが、消防署につきましては、指令から所属長が認めた範囲内において時間外勤務を管理しているところではあります。

委員：出動管理について、IC化を進めている消防組織はあるのでしょうか。

事務局：最近、東京消防庁で救急車両の横転事故があったこともあり、救急隊の労務管理について、全国的に話題になっているところです。その中で、3回出動で機関員を交代するなど、各所属で様々な検討がされているところでもあります。現在、蕨市消防本部におきましては、情報収集を実施している段階です。当消防本部におきましても、長時間の救急出動が目立ち始めておりますので、そのような状況を鑑みまして、今後、対策を講じていきたいと考えております。

(2)資料に基づき、令和4年中の火災・救急について説明

議題2資料①

委員：令和4年は、火災による負傷者の人数及び放火の疑いによる火災件数が令和に入ってから1番多くなっているようですが、消防本部では、このような状況をどのように分析していますか。また、不明・調査中には、放火の疑いも含まれているということでしょうか。

事務局：令和4年中の負傷者は、8名となっておりますが、1件の火災で、8名の負傷者が発生したわけではなく、年間17件と火災件数が増えておりますので、それに伴って負傷者の人数も増加したと考えています。また、1件の火災の中で2人以上の負傷者が発生した事案はありません。放火の疑いについてですが、燃えやすいものを目につきやすいところに置いているために、狙われてしまうのかなと考えています。火災予防広報では、ゴミ出しを夜ではなく、朝に実施することや目につきやすい場所に燃えやすいものを置かないよう指導しているところです。不明・調査中の火災原因ですが、令和4年の年末に発生した火災につきましては、現在も調査中になりますので、このように標記させていただきました。調査中の火災事案につきましては、様々な可能性を考慮して調査を実施しています。

議題2資料②、③

委員：昨年に比べて出動件数が16.9%増と大きく増えている状況となっておりますが、この数値による影響は、どのようなところに現れてくるのでしょうか。また、不搬送も21%と高い数値となっておりますが、不搬送理由としては、どのようなものが多いのでしょうか。

事務局：救急出動件数増加による負担としましては、出動手当及び時間外勤務手当の増加という部分でも表れていますし、救急活動用資機材の整備費用も増加しております。また救急車の走行距離も増加しているところなどでも増加に対する影響を判断しているところです。また、不搬送の理由としては、新型コロナウイルス感染症の影響により、搬送先医療機関が決まらないことや搬送先が遠方になることを傷病者に説明すると搬送を辞退することが多く、不搬送事案の約7割を占めています。

委員：資料③に記載されている医療機関が、令和4年中における全ての搬送先医療機関ということなのか。不搬送理由の1つに収容先医療機関が遠方のために辞退ということがありましたが、この表に記載されていない医療機関があるのか。

事務局：資料③の下にあります『その他』に、上に記載した近隣医療機関以外のものが含まれております。

委員：令和4年中搬送医療機関その他における最も遠方の医療機関は、どこになるのか。

事務局：深谷赤十字病院が、最も遠方であったのではないかと思います。

委員：令和4年中、最も搬送に苦勞された事案だったということによろしいか。

事務局：搬送医療機関までの距離以外にも収容までに時間を要す事案などが非常に多かったと感じております。

(3)資料に基づき、令和5年春季全国火災予防運動について説明

議題3資料①

委員：5蕨市において実施する内容(2)JR蕨駅での広報活動とは具体的にどのようなものか。

事務局：蕨市のマスコットキャラクターであるワラビーくんの着ぐるみを着用しまして、住宅用火災警報器設置啓発のチラシと今年度防火ポスター展の作品を掲載しましたポケットティッシュを配布します。

(4)その他

特に質疑なし

以上